

6. アジアの準好気埋立の失敗事例

国立環境研究所 石垣智基

途上国にも多くの準好気性埋立の技術移転が進んでいる



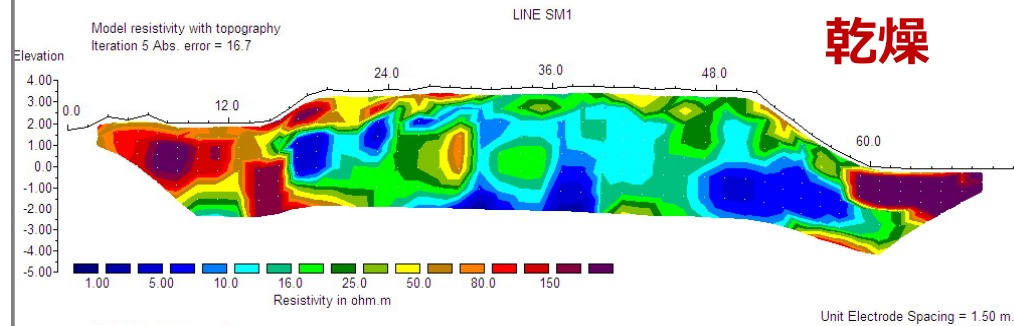
(写真はヌワラエリヤ・スリランカ)
しかし構造がそれなりに満たされていても機能していないケースがある

例：排水が機能せず内部に湛水が確認され、周辺水環境の汚染が顕在化している。(R'05)

例：メタン濃度・酸素濃度・硫化水素濃度からは、同埋立地が、通常の衛生埋立地と比べて、大きく内部環境が異なっているとは言えない。(JPGU2012)

乾期の諸問題

火災



水処理機能の損失



雨期の諸問題

湛水・ガス交換阻害



越流



スリランカの埋立ガイドライン（抜粋）

	Class A	Class B	Class C	Class D
定義	埋立量が 10t/d以下	埋立量が 10-50t/d	埋立量が 50-200t/d	埋立量が 200t/d以上
遮水工	難透水層上であれば 必要なし		1) 1x10 ⁻⁷ cm/sec・100cm厚 2) 5x10 ⁻¹⁰ cm/sec・60cm厚 3) 1.5mmHDPE +1x10 ⁻¹⁰ cm/sec	
浸出水	集水管不要・ 最小化・自然 浄化	集水管敷設してCEAの 承認を得る		4インチ管・ジオテキスタ イル+30cm砂利粗砂保護
	(推奨) 1) 浸出水は再循環, 2) 排水基準満たすよう処理			
爆発・ 悪臭防 止	必要なし		周囲4点内部1点の観測点・年2回観測・ 境界:爆発下限界/周辺:25%爆発低限界	
	(推奨) 1)30-40m間隔で垂直管を敷設して受動的ガス交換 2)吸引設備による強制排除・有効利用も検討する			
被覆	1x10 ⁻⁵ cm/sec・60cm厚			

その他管理上の事項：搬入物の検査・秤量・記録設備/自己搬入の原則禁止/資源回収者の安全管理

